

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 2月 2日 (14:00 ~14:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 長田ホーム長、采、森、安田、山出、松島、宮下、泉

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	14	4	1	20
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	16	3		20
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	6	12	2		20
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	13	3		20

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ■ 朝の申し送り時にケアマネ、管理者・ケアマネより利用開始になる方の早目の情報発信があった際に、入居依頼情報ファイルやフェイスシートや他部署からくる情報（訪問看護など）から情報を得る様になっている。 ■ 本人、家族の希望、要望など出来ることはすぐに対応し、要望に添える様、1人で判断はせず共有しながら対応できている ■ コミュニケーションをとっていき、働きやすい環境作りを目標とし、疑問点や不安感を考えて業務改善がみんなで行うよう努力している ■ 担当ケアマネにできる限りの情報の聞き取り、また他職員との会話の中で情報共有に努めた。 ■ 出来る限り、本人が遠慮しないように会話するように努めた。他利用者との間に入り、自然と会話が出来るように配慮した。 ■ インテーク時、本人・家族が抱えるニーズだけに着目せず、ニーズにある背景に目を向け、相談から関わるように支援した。 ■ 環境が変わることは誰しもが不安。まずそのことを理解してうえで関り、私だったらどういう気持ちになるかを考え行動している。 ■ 居宅訪問時、レクリエーション時何か心配事聞いてみたい事を声掛けし、なんでも話して下さる、態度・信頼関係、笑顔を忘れず接するよう努力した。キーパーソンには状況説明した。 ■ 初対面では、双方遠慮がある為、これまでの生活歴を聞きながら、ニーズを見極めると共に意思や想いをくみとる姿勢で関わるよう意識した。

できていない点

- まだ慣れていない時など、声掛け、気遣い等の関りが少ないことがある
- 関係作りに対してはこれが正解と言うのではなく、深めれば深めるだけニーズに添って支援ができるのが事実で、では自分でそれをできていると自信をもって言えるかと言うと違う気がします。また、他スタッフの情報のみに頼っている部分が大きいので、いつも自分自身を見つめ、振り返り、家族と関わる場面があれば私自身が積極的に関わり、相談しやすい関係作りが出来る様に努めていきたいと思いません。
- 情報を読んだだけでは不十分。朝のミーティングでのケアマネからの情報提供の際、不在の場合がある。
- 勤務の都合上、朝のミーティングに参加できない事が多くミーティングで発信されたことについては把握できていない事も多くある。
- 大まかなミーティングはできているが個々のミーティングはあまりできていないので時間を作っていくようにする。職員増加に伴いできると思う。
- その日の業務の流れによって、家族様や利用者様とのコミュニケーションが図れない事もある為。
- 利用開始前にスタッフへ、伝達するように心掛けたが新規の相談が続くこともあり、書類回覧で伝達することもあった。伝達が不十分なことがあった。
- 送迎車の種類問題、送迎業務の運転に関して、スタッフによって送迎車種の希望あり時間を決めるのに難航し、送迎の効率が悪くなってしまった。
- 本人、家族のニーズを全て受け入れることは困難である。
- 情報が提供されずに対応しなければいけなかったため
- なかなか家族の不安や本人の不安を配慮できていない⇒何を不安に思っているのか、情報把握と話をできていない利用者もいるから

次回までの具体的な改善計画

変則勤務の中で、朝の申し送り（ミーティング）に全員参加することは困難である。申し送りに関しても人から人へ伝えていく中で内容が変わってしまうこともある。もともと、日々の記録②を活用し情報共有していく手法を考えていたが活用が不十分である。新規利用者の情報共有する場が、朝のミーティング以外の時間帯でも必要ではないか。

●【改善内容】

- 日々の記録②を記載・確認を徹底し、情報共有する
 - ・新規で関り、情報収集した内容（入浴状況や排泄状況、皮膚の状況、医療情報、本人・家族の思い etc）を日々の記録②に記入する
 - ・出勤時に、日々の記録②を確認し情報収集していく
- 新規利用者の情報発信は朝のミーティングではなく、PM の時間帯でミーティング時間を持ち、共有していく

その他

- ・事業所の中で、記録は「手書き」としているのので、パソコン入力し貼り付けることはしない。改ざんととられる可能性がある為。
- ・ヘルパーにて週1回土曜日に、ケアマップを刷りだしているがNsのケアマップで確認することができるので、HPによる刷りだしは行わないことにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 2月 10日 (14:00 ~ 15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 長田ホーム長、森合、光石、森、塚原、松島、栗栖、川中、山出、泉、

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		13	5	2	20
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	11	7	1	20
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		9	10	1	20
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	13	1	20

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ■ 居宅サービス計画書の御本人・家族の希望内容には必ず目を通し、それに沿ってケアをするようには努めている。まだ努力する部分は大いにあると感じます。本人の現状維持を目標に出来ることは声掛け、見守り等で対応している ■ 自分の要望を言葉にできない場合は仕草や行動をみて声掛している。 ■ ADL、精神面の把握を行い、日々関わっている。 ■ やすらぎをご利用時に、スタッフ間にて問題点を上げて利用者様が、無理なく日常生活が送れるように関わっている。 ■ 目標「～がしたい」が明確な利用者様に対しては支援、協力できていると思う。 ■ 「本人がどうしたいのか」というところでは、コミュニケーションを図る際業務の話だけではなく自分のことの話 (公私混同しないように) を交えながら話しやすい、話しかけやすい様な雰囲気づくりを心がけている。 ■ 実践した (かかわった) 内容は日々の記録に記入し共有できている。 ■ 不安や困っていることを聞き、ADL の状態や利用者様の個別性をみながら、可能な限り希望に沿った関りをしている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> ■ 実践した内容を自分の中で完結している事が多いです。管理者へ必要時は報告しますがそれ以外のスタッフと確実に情報共有が出来ているかと言うと、まだと言えます。交代勤務や夜勤など、勤務の関係上でフロアが違う事があり、利用者様の支援を多数のスタッフで関わると言う利点が活かせていなく、ぶつ切りの支援になっている事があると思います。あと他スタッフに遠慮してしまいます。 ■ スタッフ間で色々な意見が錯綜する事があり、それを考えると利用者様の為に必要な事があっても遠慮して言えなくなってしまうという事があります。つい先日は利用者様にとって自分自身が発信しないといけない情報があるにも関わらず、一線を乗り越えられませんでした。しかし、こうして自分自身を見つめ直す機会がありますと、利用者様本位で動く事が大切で自分自身の動きで支援の流れが変わるとなると、スタッフに遠慮せずに情報共有に努め、一連の流れでの支援に繋がっていかねばならないと振り返る事が出来ます。ですので、次に繋がられる支援に努めていきたいと思えます。 ■ 利用者様の能力の差が大きい。訴え、要望の強いまたは多い利用者様の意見が中心になる。個別対応は困難。 ■ ミーティングは申し送りで終わることがほとんどで、カンファレンスが出来ていない。ケアや送迎等でミーティングに参加できないことも多いことも要因だと思う。 ■ ミーティング、カンファレンスでの情報共有の場ないから？時間を作ろうとしてないことと、ちょっとした変化に気付いた時にミーティング開催ができていない。 ■ 事業所内で利用者の情報交換が少ない。アセスメント不足。事業所内で、ミーティング時間を増やしていく必要あり。ミーティング内で利用者の『思い』や『行動』について、スタッフ間で共有する時間を

持つようにした良いのではないか。

- **デスクカンファレンス**が開催できていない。
- 評価期間が満了する際に、担当同士だけで話し合いを行っている。
- 自身が利用者各々の目標を理解していない 知っていない。
- 「どうしたいのか？」目標としていることを傾聴、**情報収集**できていない為。
- 本人の思いではなく家族の思いや考えばかりにかたよっているように思う
- 家族の思いばかり優先され、本人の気持ちはどうなのか深くくみ取れていない
- 本人の目標と家族の思い、介護者の思い等が共有されておらず、多職種による連携が必要。
- 自己表現がうまくできない利用者の思いをくみ取る事ができているか、は不明。
- コミュニケーションの構築を図るも病態によっては難しい場合がある。そこで、コミュニケーションを諦めてしまっている。根気強く接する必要がある
- 本人の希望と提供できるケアの擦り合わせが難しいと感じることがある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

情報共有のツールとして、ケアマップ・日々の記録・ホワイトボード・その他いろいろあり、どこを確認すれば良いのかわからなくなってしまう。ケアマップだけでの情報では、断片的な情報になってしまうのが、日々の記録②に記入することで経緯など記入でき、根拠も明確にできる。意識を持ち、活用していく。

【改善策】

- 申し送りでの情報が「申し送り」でストップしてしまい、皆で共有できていないこともある。日々の記録②を活用することが大切であり、前回ミーティング同様、日々の記録②を書く・見る習慣をつけていく。業務上、日々の記録②の書く・見る時間が難しいこともあるが意識を持ち実施していく。
- 個別計画書の更新時に、各担当で話し合い再作成している。作成後に、ミーティングの機会を持ち、個別計画書の内容や、希望について確認する場を持つ→ミーティングの機会を定期的な持つ

※ 「どこまでの内容を記入したらよいのか？」

→状態変化があった場合、スタッフ間で共有(報告)した情報を記載する。

小さなことでも記入していく癖をつけていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 2月 17日 (14:00~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 長田ホーム長、隆杉主任、山田、松島、塚原、安田、栗栖、森合

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		13	13	6	32
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7	14			21
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		12	8	1	21
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	14	1		20
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5	10	6		21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>ご本人の摂取状況や咀嚼・嚥下の状態で食事形態などをその都度変え、提供しています。排泄などは片麻痺があり、歩行訓練も含め介助に入ることがありますが、PTなどの専門職からの指導を交えて介助出来ていると思います。トイレ誘導の際に自分自身で介助の自身がなければ、ヘルパーさんに介助方法を聞きそれに合わせて実践しています。</p> <p>食事、入浴、排泄は基本利用者様の意向に添い安全を考慮しケアしている。その日の体調や精神状態に合わせて、ケアを行っている。</p> <p>気になったことは、直ぐに他スタッフと連絡し相談、共有する日々の記録を活用している。</p> <p>利用者が困難となっていることに対して、本人と確認し、納得をして頂きながら実施できている。</p> <p>終末期の利用者が多く、死後が近づき利用者・家族の思いに寄り添い対応することができている。</p> <p>体調や気持ちは毎日変わるのでその時や状況に合った対応を心掛けている</p> <p>電子端末や書面、またスタッフ間のコミュニケーションによって身体の変化や状況の変化を把握しそれに応じた適切な対応が出来ている</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用開始時にフェイスシートに目は通し頭にビジョンとして残すようにしていますが、ふとどうだったかな？と忘れてしまう事がある為、常に理解していますか？と問われると確認しつつする事もあります。</p> <p>⑤はもっと早く的確に対応していたら、利用者様がしんどい思いをしなかった事例があり、即時支援と言うと出来ていなかったと思います。⑤に関してはある利用者様の体調を崩された経緯から、泊まり利用→受診→在宅復帰の一連の流れで関わった事例があります。その事例を通して振り返るともう少し早く対応していたら、在宅生活継続で泊り利用をせずに関われた事例であったと思うのであまりできていないにしました。</p> <p>私はじめ、他スタッフも他の人がしてくれるわとなんとなくそういう雰囲気がある事があります。一人ひとりが、在宅生活を支援する意識を持ち看多機の強みを生かし、多くの看護スタッフをいると言う利点を生かせるようにしたいと考えます。</p> <p>詳しい書面等がないため、以前の暮らし方については詳しく把握できていない</p> <p>ご本人の自宅での生活環境を理解することについては、利用者様によってばらつきがある。</p> <p>利用者様の気持ちの面での共有が曖昧な事がある(そう思う、そう聞いた、多分・・・など)</p> <p>文書で提示しても全員が読んでいない時がある</p> <p>生活支援の記録不足。</p> <p>本人の状態に合わせて、介助をするもスタッフの我流でケア方法が変わってしまうことあり統一が必要</p> <p>事業所の日々の記録②の記載漏れや、記入が少なく、利用者の状態変化を記録から確認することが難しい。</p> <p>日々の関りが記録に反映されていない。</p> <p>そのミーティングの機会が少ないのと、生活歴といった個別の情報は少ない</p> <p>体調が悪い、発熱している事案があった場合、受診した方がいいのか、その判断はCMがするのか、看多機の性質上、体調不良の場合泊りにするのか・・・今、コロナの発生により、状況、対応は変化していると感じている。即自的な支援が困難になりつつあるように思う。どのような形で支援できるか、都度スタッフ全員の意識の統一が必要に思う。現在通いの方々やスタッフを守るにはどうしたらよいか・・・そこが明確になると決断しやすい。「コロナ」という高い壁を乗り越えるためにどうしたらいいのか、非常に悩むところである。</p> <p>訪問回数が未だに少ないことや、不慣れな為、生活環境の把握に至っていない。</p> <p>書面での収集のみ。情報収集不足で、変化に気付くことが遅れている。シフトにより沢山の情報を得ることが困難な時もある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>① 「以前の暮らし」を知っていくために、利用者の生活歴のアセスメントを実施し、記録と残していく。記録は、フェイスシートに記入していく。</p> <p>② 利用者への対応方法がスタッフ間で統一できていないことあり。まずは、排泄面で、オムツ類の使用を統一するため、受持ちにて話し合いを行い、カンファレンスで協議していく。</p> <p>③④情報共有をするために、日々の記録②を活用。日々の記録②を出勤時に確認する。始業時に確認できない場合は、業務の間に確認する。私語をする時間を確認する時間に変えていく。</p> <p>⑤ 利用者の状態に合わせて、引き続き泊り、通い、訪問サービスを調整し対応していく。対応方法を決め兼ねる際は、スタッフ間で相談していく。(発熱時の対応マニュアルあり)。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 2月 26日(18:00～ 18:15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 長田ホーム長、泉、采、松島、川中、多田、光石、森、玉田、森合、松島、守屋、大下

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	10	8	1	20
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		11	6	2	19
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		7	10	3	20
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			9	11	20

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>フェイスシートなどで理解しているつもりではありますが、その方の全体像を全て把握しているかは必ずそうであるとは言えません。③訪問看護で家族と関わる時には、話を聞いて生活の全体像を把握するように努めています。実際にお話しがご自分で出来る利用者様からは自宅での生活も把握する意味で話をしたりするときに何気なく聞いていますが、よくできているかと言うと違う気がしますし、まだ努力が必要な部分があると思います。</p> <p>送迎時や連絡ノートで家族と情報交換はしている。訪問時、送迎時にはできるだけご家族と話をし自宅での様子を聞いて把握するよう努めている。</p> <p>ご家族や本人としっかり傾聴して、今できる事を支援していく</p> <p>コロナ感染の影響もあり、地域との関わりはほぼないが、本人とご家族との関係は、訪問・送迎時や面会時本人の状況や通いや泊り等の様子をご家族に伝えるように努めている。逆に家での様子も聞くようにしている。</p> <p>情報収集時、本人と家族とのつながりを把握して、大事にしてきたことやしていることを確認する。</p> <p>住み慣れた地域での生活継続を念頭に支援している</p> <p>家族様とも面会に来られた際に話をしよう心がけ、日の様子を伝えたり家族様の思いも傾聴する。</p> <p>報告をしっかり行うことができている。</p> <p>本人と家族に関しては、日々の様子を伝えたりと何とかできている</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>②地域との関係が切れないように支援しているかと問われると出来ていないように思います。</p> <p>④安佐北区のエリアでの民生委員や地域の資源の知識は皆無に等しいです。地域等の関りについては不透明地域包括ケアシステムと言う意味では、まだ支援する幅があり地域を十分に活用できていない実情があります。④の視点が自分自身に欠けていると思います。事業所内での対応しか関わっていない為家族と接点がないと情報交換は困難。</p> <p>・近隣者や友人との接点がない。面会、送迎時など家族様との接点がある場合は日常生活などの状況を報告できるが、合わない場合は連絡ノートで行っているが返信が無い場合は伝わったかが不安。また自宅での生活も分からない。</p> <p>民生委員、地域の資源は把握できていない。</p> <p>看多機での必要性の知識不足。</p> <p>これまでの生活スタイルや人間関係はなんとなくしか把握できていないように思う。</p> <p>把握しようとする意識不足。</p> <p>本人の地域とのつながり方やかわり方などの把握がうまく出来ていない。</p> <p>情報収集の不足、本人と家族様の状況を確認して、問題化が出来ていない為。</p> <p>利用者の自宅担当の民生委員との関りは、できていない</p> <p>インフォーマルサービスへの結び付け、視点が無い</p> <p>当事業所サービスで終決しがちである</p> <p>利用者・利用者家族への支援で終わっている。地域支援ができていない。</p> <p>民生委員へ相談することも無い。家族と民生委員との関係が不明</p> <p>地域の社会資源の情報収集ができていない。</p> <p>看多機だけのサービスだけでなく、地域に対してももっとアプローチし地域力を上げる関りが必要。もっと民生委員や町内会長と運営推進会議以外でも関りを持ち、情報共有していく。※コロナウイルス感染もあり、思うように交流の場を持つことができない。</p> <p>本人と近所の関りについて情報が無い</p> <p>地域との関りなど、その他の社会資源等の情報は入ってきていないし、情報収集もしていないから地域と言う広い範囲になると全くできていない。自宅での様子は想像するだけに終わっている。情報共有と知ろうとする事の不足。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>【改善策】</p> <p>①②③ 利用者の自宅での生活状況をアセスメントし、地域の関りや生活スタイルを知り、フェースシートに記入する。必要に応じて、日々の記録②（経過記録）にも記入する。本人の生活スタイルに合わせてサービス提供していく。</p> <p>④ 民生委員や地域との関りが少ない状況あり、まずは民生委員の方を知る・把握することから行う。社協から、毎年民生委員の紹介の広報誌が来るので、わかるように回覧・掲示する。運営推進会議は、地域住民（民生委員・町内会長・包括スタッフ等）と関りを持てる場なので、ホーム長やケアマネジャーだけでなく、他のスタッフも参加するようにしていく。交流の場を増やしていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 3 月 1 日 (14 : 15 ~14 : 45)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 隆杉主任、泉、松島、大下、栗栖、森、宮下
安田

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		1	8	11	20
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	7	10	2	1	20
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	2	11	6	1	20
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	14			20

できている点
<p>利用者様の特色を生かしながら支援の形がそれぞれあり、それにあったものを提供できていると思います。日々の記録 1, 2 を使いながら小さな変化やスタッフとの情報共有の為に活用出来ていると思います。利用者様、ご家族様に希望に添い利用を提供している。</p> <p>日々の記録へ家族からの言葉や本人の体調管理・言動などで観察し申し送る</p> <p>その日の状態に合わせ、主治医へ相談や報告、上司やスタッフ間にて連携を取りながら、利用者様に負担がかからないように対応している。</p> <p>本人・家族のニーズから、柔軟にサービスを組み合わせ、サービス提供できている。</p> <p>家族の介護力を引き出し、家族の介護力を上げることができた。</p> <p>「柔軟な支援が出来ているのでは」と思う反面、事業者側の都合で支援しているのでは？と思う所も多々ある。</p> <p>利用者様の希望に添ってショートステイや訪問介護、訪問看護等利用して頂いている。</p> <p>緊急の泊りなどを柔軟な支援が出来ている。待機のスタッフも増え、夜間緊急訪問に備えている</p> <p>報告をしっかりと行うことができている。</p> <p>利用者・家族の関りの時間を多く設けることで、想いを聞き取り支援できるように意識し勤務している。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①については現在コロナ感染症の影響で地域資源を十分に活用出来ているとは言えません。感染回避から、リスクがある人の接触などがある地域資源などは利用を避けたい為です。記録では情報が不十分な事がある</p> <p>今まで泊りの定員オーバーはないが今後、利用者様が増えた場合は臨時での受け入れは難しい事もある。日々の関りの中で、体調の変化や大きな出来事は申し送りや記録等で共有できているが、小さな変化や些細な出来事は自分自身のなかでとどまっていたり、その場にいるスタッフ間でのやり取りで終わることも多くある。</p> <p>小さな変化が大きな変化につながることもあるという意識が足りない。記録に残すことの重要性の理解が足りない。</p> <p>新型コロナウイルスが流行している為、本来、出来るサービスの提供に限度があるミーティングへの参加機会が少ない為、伝達ノートや記録での伝達が多い。ミーティングへの参加機会が少ない。ミーティングセットの習慣化ができていない。本人の様々な変化に対して、その日のうちに問題点を上げて、話し合いが出来ていない。その日の担当以外にも目を配りながら、業務がうまく出来ていない事が多い為。</p> <p>開設当初、事業所だけでの支援が強かった。自助・共助の観点が薄かった。開設当初で、空きも多くあり利用の制限や、アセスメント不足があった。コロナウイルス感染対策の観点から、既存利用者の体調不良時の対応に苦慮することがあった。判断が難しい。コロナウイルス感染対策もあるが、できる範囲での柔軟な対応は実施できている。</p> <p>地域のサービスが理解出来ていない為、情報を与えることができない。利用者様のニーズを全て受け入れる事はできない。現在コロナ禍の状況が続いている中、他利用者様 スタッフの事を考慮しながらのサービス提供の制限は必要だと思う為。一人の為に、大勢が犠牲になるようなサービス提供ではいけないと思う。 本人や家族にとって必要以上の支援を行っている所が見られる 自宅でできる範囲の介護がどこまでなのか把握できないため家族ができることまで取り上げている</p> <p>事業内で解決している事が多い。もう少し地域の資源が使えるのであれば使っていく方が良い言葉では難しいが、『もう一歩』踏みこんだ支援はできていない。看多機サービスの理解不足。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>【改善策】</p> <p>① 地域の社会資源を知ることができていない。コロナ過で、住人と関わる場も少なかった。スタッフの知らない場面で、利用者やその家族を心配し、支援している住人もいるかもしれない。情報収集を行っていく。</p> <p>②④利用者の状態合わせて、柔軟にサービス提供ができています。コロナ過で、対応方法を悩む際は主任やスタッフ間でしっかり相談しながら検討していく。</p> <p>③ ミーティングを習慣化させていく→個別計画書更新時に、新たなプラン作成したら事業所内でカンファレンスを実施し、情報を共有する場をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Excelにて、カレンダーの表を作成。今月実施しなければいけない利用者を明記する。 ・受持ちスタッフが出勤時に、カンファレンスを開催する。日程をカレンダーに記載する。 ・午後の時間帯で、開催する。 ・20日までに開催する→期限内で家族へサインをもらうため。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 3月 16日(15:00 ~15: 30)

6. 連携・協働

メンバー 長田ホーム長、泉、栗栖、大下、

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		7	4	7	18
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1		17	18
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?				19	19
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?				19	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>事業所としては、定期的に担当看護師、管理者、ケアマネが会議に参加されています。担当者会議を定期的開催し日々更新できている福祉用具について助言している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護はスタッフで行っているので把握できている。 ・医療機関に必要な情報を提供。 <p>特定の医療機関との連携はできつつあると思う。福祉用具など日々の関わりの中で変化があった際利用者様、スタッフ間で話をし変更した方が良ければCMへ報告し変更できている。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>①勤務や人員配置の関係で職員ではなく、管理者が参加している事が常でスタッフがサービス機関との連携をもっとできる様になれば良いと思います。</p> <p>②～④は参加する機会がない。②～④現在はコロナ感染症の関係で自治体・地域との交流はほとんど持っておりません。</p> <p>地域の活動、イベント等は参加できていない休日は子育ての為、参加できない コロナウイルス感染対策にて、研修や会議、行事の参加は難しかった。 利用者受診時の、医療機関への情報提供ができていないことがあった。情報提供方法を考え、改善済。 会議のリモート化は、会社レベルではできているが、地域住民に対しては難しい。 情報提供方法を考え、改善済。 自治会活動などは上司に任せっぱなしになっている⇒事業所に担当者がいない点</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス開始時など、多職種と連携し退院前カンファレンスや担当者会議で情報共有を継続して行う ・自治体、地域包括支援センター主催の会議に積極的に参加し、情報共有していく ・地域の行事やイベントに参加していき、地域交流を持てるようにする 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 3月 22日 (18:15 ~ 18:40)

7. 運営

メンバー 長田ホーム長、隆杉主任、泉主任、川添副主任、松島、川中、光石、森、玉田、松島、守屋、宮下、前田、渡辺、塚原、

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	4	8	4	19
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	9	5	1	18
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	3	10	19
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		1	3	15	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>利用者様やご家族などからの意見や苦情に関しては、ケアマネ・管理者が主体となり、時にはスタッフなどが関わる事がある場合は、朝のミーティングなどで情報共有し、改善に努める働き掛けを迅速にしていると思います。</p> <p>意見等、常に発信しその都度改善されている</p> <p>利用者、家族、介護者からの意見、苦情など出れば、その都度、出来る限り寄り添えた対応が出来ている疑問に思った事や理解できない事を伝えている</p> <p>偏らないサービスの提供が出来る様、利用者の方に接している</p> <p>ご自分の思いや気持ちを伝えられない方にも寄り添える、サービスを提供している</p> <p>機会あれば、自身の意見や考えは言うようにしている。</p> <p>直接苦情を聞くような場面がなかったが、苦情あれば話あいの機会を設け、今後の運営に生かせるように伝達はされていた。</p> <p>疑問点や確認したい事項はその都度、スタッフや上司に行っている。</p> <p>職員と利用者で季節の行事・壁画作りをしたり個々の生活リズムに合わせた生活リハビリを行っている。</p> <p>利用者様やその家族様の意見を大切にしながら、業務に反映がされている。</p> <p>利用者の苦情に関して、迅速・丁寧に対応し、スタッフ間で内容を共有し改善することができている。</p> <p>地域の声を運営推進会議にて確認。災害受け入れ施設として行政とやりとりし登録した</p> <p>事業所のありかたについて自身の思い、意見は伝えられていると思う。</p> <p>利用者様本人、家族からの要望、意見、苦情はミーティングの場で情報共有できていると思う。</p> <p>自分の気づきや、利用者・家族からの意見は共有出来ている。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>職員としての意見は、他スタッフに聞かれた時には考えを発信しますが積極的に自分からの発信は特にはしていません。自分自身としては看多機を理解して、利用者様の支援に当たっていますが果たして全てのスタッフが同じ目線で支援出来ているかと言うと疑問に思うところがあります。ですので、今後同じ方向に向ける様に期待したいと思いますし、必要な場があれば発信したいと思います。</p> <p>地域との関り等はほぼ無い業務以外には参加できない為</p> <p>職員としての意見を言えるのは、上司と一部のスタッフに限られている。</p> <p>同じ目標を持っていないと感じる為、意見交換にすらならないとおもうから。</p> <p>突発的に起きたことに対して、すぐに解決が出来ていない。</p> <p>個人で問題を取り扱うことが多く、情報共有が図れていない為。</p> <p>運営推進会議を途中、紙面開催とした。直接意見を聞く機会が少なかった。コロナウイルス感染対策のため。</p> <p>地域の声を把握できていない 知らない。</p> <p>全て、管理者に任せっぱなしになっている為。</p> <p>地域にこの事業所があまり理解されていない又は認知されていない。</p> <p>まだ開設されて間もないため、地域住民から認知されていない点と、広報活動ができていないため意見箱は設置できているが活用できていない。記入してもらえるようにしたい。</p> <p>問題に対して、他人任せとなっている。個人の向上心不足。</p>	
次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>【改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別面談回数を増やしていき、個人の意見の出せる環境づくりを行う ・スタッフの気遣いや、対応が良いときは、すみませんではなく「ありがとう」の言葉を伝えるようにして、良い雰囲気をつくっていく ・地域の行事やイベントに参加していき、地域交流を持てるようにする 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3年 3月 22日 (18:15 ~ 18:40)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	長田ホーム長、隆杉主任、泉主任、川添副主任、松島、川中、光石、森、玉田、松島、守屋、宮下、前田、渡辺、塚原、

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	7	5	7	20
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	7	11	20
③ 地域連絡会に参加していますか			1	19	20
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	10	3		19

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・インシデント、アクシデントは報告書を作成し 1 週間読み上げ情報共有した。 研修や勉強会には積極的に参加するようにしている。 リスク委員を中心に、リスク管理できている。 事業所内で研修会を通じ、介護技術について学び実践に活かすことができている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>子供が小さい為、業務以外には参加できないためスキルアップ、研修等には参加出来ていない 研修は年に数回の参加しかしていない。参加したい研修がコロナの影響で中止になった。 リモート研修は不得手の為、参加できない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>【改善策】 ・④インシデント・アクシデント・ヒヤリハットに関して、書面で残し、スタッフ間で共有し再発防止に努めていく ・事業所内研修の時間をつくり、介護技術・知識の研鑽を行える場をつくり、スキルアップしていく</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 3月 22日(18:15 ~ 18:40)

9. 人権・プライバシー

メンバー 長田ホーム長、隆杉主任、泉主任、川添副主任、松島、川中、光石、森、玉田、松島、守屋、宮下、前田、渡辺、塚原

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	15	5			20
②	虐待は行われていない	17	2			19
③	プライバシーが守られている	11	7	1		19
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	3	2	12	18
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	8			19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>身体拘束について事業所内研修を実施している為、適切に行えていると考えます。家族から要望があっても管理者が家族と話し、拘束をしない同意を得て支援にあたっています。また、拘束を実施しない代わりに見守りの強化や人員配置を適切にしています。</p> <p>虐待、薬剤の過剰投与はしていない。</p> <ul style="list-style-type: none">・フィジカルロックは基本しないが利用者に過度の危険が伴う場合は書類を作成し家族の同意を得て行う。・カーテンや戸を閉める事でプライバシーを保護するように努めている・個人情報を持ち出したことはなく家族に話をする場合での個人を特定出来ることは話さない <p>行動を抑制する拘束は行っていないが言葉での拘束は見落とされがちなので、自分自身で振り返りながら関わりたいと思う。</p> <p>身体拘束、虐待に関しての勉強会を実施</p> <p>身体拘束に関して、『行わない』を基本として対応。</p> <p>個人情報の漏洩に注意し、対応できている。</p> <p>羞恥心など自分がされたらどうなのか、どういう風に思うのかを考え関わる際失礼がないか心がけている。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>④現在制度を利用している利用者様がないからです。成年後見制度は耳にしたことはあるが手続きなど詳しく知らない。活用方法が理解できていない その状況によって、個人のプライバシーが守られていない事がある為。 利用者様や家族様の考えや思いをうまくくみ取れていない為。 プライバシーの保護のに関して甘い部分もあると思う 各個人の意識の低さや、慣れが生じて油断等が起こっている為 成年後見人制度は職務範囲外と考える</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>【改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度対象の利用者はいないが、成年後見制度について理解を深めていく ・プライバシー保護・個人情報保護に関しては、引き続き意識しながら取り組み管理を徹底していく ・虐待・身体拘束については、定期的に勉強会（研修）を開催していく 	

看護小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 恵正会	代表者	二宮 正則	法人・ 事業所 の特徴	【特徴】 医療・介護で連携し柔軟にサービス提供することで、在宅生活の中で医療必要度が高くなっても家族が安心して介護を継続でき、利用者が住み慣れた自宅で生活を継続できるようサポートします。本人・家族の思いに寄り添い支援しています。
事業所名	看護小規模多機能ホーム やすらぎ	管理者	長田 美紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2 人	人	1 人	1 人	人	2 人	人	6 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			改善計画に関して、コロナウイルス感染拡大で実施が難しいこともありますが、あります。	会議や業務改善を通して、あらためて外部評価の仕組みをスタッフ全員に周知し、認識を深くすることで意欲的に取り組める環境をつくる。その上で改善計画を定期的に確認し、達成までの進捗状況を全員で共有することで、確実に一つずつ達成していけるようにする。引き続きコロナウイルス感染対策に努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境			コロナウイルスの影響で、去年の開業から事業所見学ができていなかったが本日（4/13）見学し、清潔感があり、ゆったりしている印象を受けた。医療必要度の高い利用者も利用ができ、本人・家族も安心して利用できていると満足感が伝わる。	地域に開かれた事業所を目標に、玄関の外から入りやすい工夫をしていく。スタッフの対応・言葉遣い等の接遇を更に向上していく。
C. 事業所と地域のかかわり			上中3区で、地域の「見まわりネットワーク」の取り組みを本格的に実施していく。協力をお願いしたい。地域の行事も当面は中止となっている。可部地区は、少子化が進み、保育園の閉鎖するところも多い現状あり。高齢化も進む。	地域住民との交流の場を増やせるよう、地域行事への参加、事業所内で行事を実施していく。（コロナウイルス感染対策をした上で実施。） 見まわりネットワークの体制づくりに地域協働で取り組む。+

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み			<p>コロナウイルスのこともあり、外出は難しかったと思うが、散歩などしていたのか質問あり。</p>	<p>行事への参加や散歩など、気分転換できる時間を積極的に作っていく。</p>
E. 運営推進会議を 活かした取組み			<p>運営推進会議で、取り組みなどの報告を受けわかりやすかった。</p>	<p>会議を通して、地域の要望や意見を伺い、一緒に取り組んでいく。情報共有の場として、運営推進会の時間を大切にしていきたい。</p>
F. 事業所の 防災・災害対策			<p>地域の防災訓練はコロナウイルス感染予防の観点から中止。今、開催時は参加してもらいたい。昨年、福祉避難所の協定を締結。</p>	<p>事業所での定期的な防災訓練を計画し実施する。日程決まれば、近隣等へ案内を送る。事業所の防災計画を見えやすい場所に掲示する。</p>

